

広島市植物公園

見どころ案内

早咲きのバラ (バラ科)

モダンローズ、オールドローズのほかには世界の野生種、広島に関わるバラなど700種を植栽しています。ハマナスやサンショウバラなどの野生種のほか、アンネのバラやグラナダ、ミスオールアメリカビューティー、ガーデンパーティーなどのハイブリットティー(HT)も見頃を迎えています。

サラサドウダン (ツツジ科)

別名フウリンツツジ。更紗はインドの織物のことで、淡黄の地に紅色の縞模様の花は繊細で美しい。近くではシャクナゲもまだ咲いています。

サボテンの花

フェロカクタス‘黄彩玉’や‘天城’など、様々な品種で大きな花が見頃です。

大温室リニューアル

日本一のバオバブやベンガルポダイジュなど 650 種 5000 本の植物を展示。見どころは裏面にあります。

デルフィニウム

(キンポウゲ科)

花をツバメが飛ぶ姿に見立てて和名は大飛燕草(オオヒエンソウ)。宿根草ですが、夏越しが難しいので一年草の扱い。

バイカウツギ (アジサイ科)

梅に似た純白の花をつけますが、花卉の数は4枚。ロックガーデン周辺では、ヒメウツギやタニウツギも咲いています。名前はいづれもウツギ(空木)ですが、別属(ウツギ属)、別科(スイカズラ科)です。

チョウジソウ

(キョウチクトウ科)

花を横から見た形が漢字の丁の字に似ているので丁字草。湿地に生える多年草で有毒です。

展示会のご案内

◇展示温室 (5/5~5/10)

セッコク・長生蘭展

◇屋外展示場 (~5/6)

クレマチス展

◇展示資料館 (~5/6)

おし花美術作品展

◇展示資料館 (5/8~6/6)

趣味のボタニカルアート展

ソクス・ニワトコ

(レンプクソウ科)

見た目は良く似ていますが、ソクスは草、ニワトコは木です。茎が木質化するかどうか大きな違い。ソクスには花の周りに黄色のつぼ形のもの(腺体)があり、昆虫を呼び寄せる蜜を分泌しています。

カルミア(ツツジ科)

別名アメリカシャクナゲ。金平糖のようなつぼみ特徴的で、どこか人工的な感じもします。

キソケイ (モクセイ科)

ヒマラヤ原産。ソケイはジャスミンの別名。同属ですが、香りはありません。

ヒトツバタゴ (モクセイ科)

木曾川流域と対馬以外で見かけることが少ないため、何の木かわからないことから、別名ナンジャモンジャ。白い小さな花を咲かせます。

シナミザクラ(暖地桜桃) (バラ科)

シナミザクラのさくらんぼが鈴なりです。花は3月半ばごろ。果実は酸味が強く、果物として流通することはありません。

